

普及項目	担い手
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	八代海

## 魚類養殖体験教室による担い手確保の取組み

天草広域本部水産課・郡司掛 博昭

### 【背景・目的・目標（指標）】

天草地区は水産業が基幹産業であり、他地区と同様に漁業の担い手不足が課題となっており、天草地区漁業士会では活動の一環として後継者育成の取組みを推進している。

このため、特に天草地区の基幹産業である魚類養殖業について、地元高校生の理解と関心を高め、卒業後の就職先の候補として関心を持ってもらうことを目的に、魚類養殖業を営んでいる漁業者による職業講話と体験教室を実施した。

なお、本年度は、魚類養殖体験教室に参加した生徒のうち、50%が水産業への就職について関心を持つことを目標とした。

### 【普及の内容・特徴】

#### 1 魚類体験教室

日時：令和6年（2024年）10月17日

場所：上天草市大道地先の魚類養殖場及び熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所

参加者：熊本県立天草高等学校倉岳校1年生8名、同校教諭4名、天草地区漁業士2名  
熊本県海水養殖組合職員2名、天草広域本部水産課1名

内容：学生と教諭は、魚類養殖場において、漁業士の指導のもと給餌体験を行ったあと、漁業士から1日の作業内容や餌料の値段等の養殖現場について受講した。その後、熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所に移動し、同事業所職員の案内で高度衛生管理加工施設等の見学及びマダイの神経締め並びに三枚おろし等の作業を体験するとともに、漁業士から仕事内容や仕事に対する考え方等の職業講話を聴いた。

漁業士と当課は、体験教室に参加した学生の水産業への就職に関する意識の変化を確認するため、体験教室実施後にアンケート調査を行った。

また、当課は、漁業士会事務局として、本取組みに係る実施内容及び関係者との調整について、助言を行った。

### 【成果・活用】

教室開催後に実施したアンケート調査では、87.5%の生徒が水産業へのイメージが良くなったと回答した。水産業への就職について「やや関心がある」と回答した生徒は50.0%と目標を達成することができ、体験教室の実施により、水産業への就職について関心を高めることができた。

また、今回三枚おろしの全工程を体験するプログラムを盛り込んだが、アンケートにおいて自分で捌いた魚を食べるのはおいしかったという意見や活け造りにも挑戦したいといった意欲的な意見もみられた。

さらに、本取組みは、地元テレビ局の取材を受け報道されたことから、県民に対して水産業へのイメージアップにも貢献した。

今後も、本取組みへの助言・指導を継続するとともに、就業希望者を対象とした研修事業の受け入れ態勢を整備するなど、漁業の担い手確保に取り組みたい。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図1 養殖魚への給餌体験



図2 養殖業についての質疑応答



図3 高度衛生管理加工施設等の見学



図4 マダいの神経締め等の作業体験



図5 漁業士による職業講話



図6 マダいの3枚おろしの体験